

陽だまり通信

[季刊誌]

Vol. 57

2016年9月16日発行



特集

国際リハビリテーション医学会2016とスラバヤ視察に参加して

CONTENTS

特集 国際リハビリテーション医学会2016とスラバヤ視察に参加して

理事紹介 / アmanoリハビリテーション病院夏祭り
出張、平良地区夏祭り! / 北米ヘルスケア・ツアー2016を終えて
シナプロジーの導入 / 職場紹介 / 病床機能の変更について
学会研修報告 / サークル紹介

<http://www.amano-reha.com>



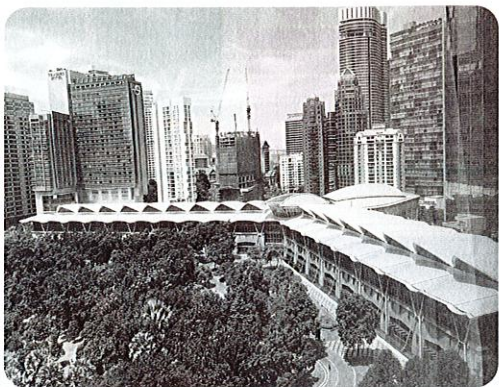
特集

国際リハビリテーション医学会2016年 スラバヤ視察に参加して

あまのクリニック 在宅リハビリテーション課長 藤田 祥子

5月30日から6月2日にかけて、マレーシアの首都クアラルンプールにおいて国際リハビリテーション医学会2016 (ISPRM2016)が開催されました。

広島大学病院リハビリテーション科の先生方とともに、当法人からは、天野理事長、菊地



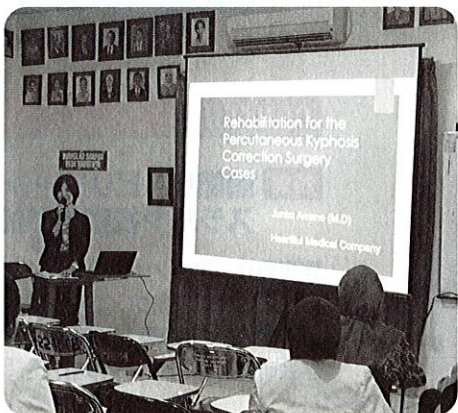
▲学会会場周辺

医師、リハビリテーション部より理学療法士の川村・藤田が加いました。学会会場となっていた東南アジア最大級といわれるクアラルンプールコンベンションセンターには、多くの国から医師をはじめとし、看護師、療法士、工学技師などリハビリテーションに関わるさまざまな職種の方が集まり、学会期間中を通しておよそ9会場で早朝から夜遅くまで、講演やセッションが行われました。その内容は、脳卒中や切断、脊髄損傷など疾患に関することから、予防、地域リハビリテーション、マネージメントなど幅広く、各会場では時間を惜しんでディスカッションが行われていました。また機器展示会場においては、各国から最新の運動機器、物理療法機

器、ロボットなどのリハビリテーション支援機器が展示され、活発な情報交換がなされていました。この度、私たちが学会に参加した大きな目的は、国際的な学会で演題発表をするということでした。グローバルスタンダードなリハビリテーションを提供できるような病院を目指そうという理事長の思いを受け、世界を見て知る一つの方法としてISPRM2016での発表に取り組むことになったものです。昨年より準備を始め、英語での抄録の作成、登録、発表準備と初めてのこと戸惑いながら、何とか準備をすすめ、天野理事長は口演での発表、川村・藤田はポスターでの発表として無事に採択されました。天野理事長は想像

していた以上に大きい会場での発表ということで大変な緊張感の中、事前の準備と練習の成果を発揮により、堂々の発表となりました。

無事に学会を終え、6月2日インドネシア第2の都市スラバヤへ移動しました。スラバヤは現在、経済成長の最中にあり年々



改めて考えさせられました。

都市整備等が進んでいますが、まだまだ貧困層も多く、医療や社会保障制度が未成熟な地域です。今回、広島大学病院リハビリテーション科と交流があり、当法人にも研修の一環として見学にこられたことのある大学、Airlangga 大学の医学部リハビリテーション科と大学病院 (Dr. Soetomo Hospital) を視察さ

ISPRM2016への参加、スラバヤでの視察を通して、医療やリハビリテーションの新しい情報を得るとともに、リハビリテーションに関わる自身の仕事や、地域の中で生活を支えていく当法人の役割について再考する貴重な機会となりました。

せていただき、広島大学リハビリテーション科木村教授、三上医師、天野理事長が医師と医学部学生を対象に講演をさせていただきました。

今回、世界を見て知って感じたことを忘れず、日々業務に当たり、よりよいサービスが提供できるように努力していきたいと思っています。

意見交換を通して、リハビリテーションを学ぶ医学生のまっすぐな姿勢と教育や知識の高さにとっても刺激をうけました。しかし、実際の現場では医療や福祉の資源の不十分さ、経済的な問題の大きさを実感しました。当然のように日本で提供されている医療やリハビリテーションの質の高さを改めて理解するとともに、私たちの仕事は生命や生活を預かる仕事であることを



理事紹介

御挨拶

アノリハビリテーション病院小児科

福田 純男



この度7月1日よりアノリハビリテーション病院でお世話になっております福田です。宜しくお願ひ致します。

事実でした。そしてその子供達を介護される御家族の方々にも接して参りました。

当院で勤務させて頂く前は東海地方で小児科医として主に新生児医療に携わって参りました。その中で超低出生体重児、低酸素性虚血性脳症、神経筋疾患、染色体異常症の子供達の診療を行い、退院後は長期の外来フォローで子供達の成長発達を診て参りました。何らかの疾患で出生時からNICU(新生児特定集中治療室)に入院しても元気に退院し、フォローアップ外来でも順調な成長発達を見せてくれる子供達が多い中、何らかの障害を負いながら懸命に生きる子供達がいる事も

私達は子供達の病気を治す事は出来ません。私達は子供達が負っている本当の痛み苦しみを感ずる事はできません。私達は御家族の本当の御苦労や悲しみを理解する事はできません。ただ側に居る事は出来ません。ただ側に寄り添っている事は出来ません。

これからも職員の皆様と共に子供達の側に居続けようと思っております。宜しくお願ひ致します。

アマノリスピリテーション病院夏祭り

アマノリスピリテーション病院外来 看護師長 馬場 律子

少し朝晩が涼しくなった9月3日、陽光台第2公園でアマノリスピリテーション病院夏祭りを行いました。今回は、当日まで台風動きが気になり、さらに日が沈むのが早く何台も照明を取り付けての開催となりました。

今年も例年通りヒロ村井先生率いるフラダンスや理事長とリハビリスタッフによる「よさこい」の躍動的なダンスパフォーマンス。また、夜店も例年の様ににぎわい、特に原宿ドッグ



はすぐに売り切れていました。今年のメインはプロマジシャンのヨシさんによるマジックとバルーンアートショーでした。参加した子供達も、身を乗り出してショーに見入っていました。終了時には、ヨシさんからのバルーンアートのプレゼントに子供達は、「アノ最高!!」と喜び、職員も素敵なお出の1ページとなりました。

私達は、入院患者さんやご家族、地域の皆様に、自分らしく地域で生活して頂けるような支援を続けていきたいと思っています。

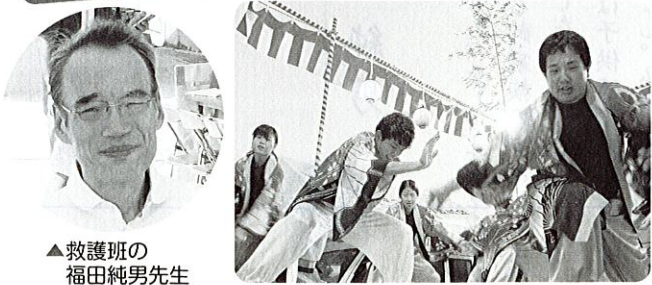
こんにちは、アマノフラガールズでございます。

毎年楽しみにしている平良地区夏祭りに、平良地区で運営している病院として今年もよさこいチームと共に参加させて頂きました。病院の代表として地域の行事に参加させて頂いただけなんてうれしいうれしい限りです。福田純男先生も救護班として参加されました。

少し夕暮れ時でしょうか、赤い提灯に彩られた夏祭りの舞台、頑張れカーブを意識したこだわりの赤い衣装にてアマノフラガールズの登場です。

今年もチビッコからガブリヨリ視線をいただきました。ありがとうございました。暑い視線と勝手にとらえ、緊張しつつも、ほっこり笑顔がこぼれます。

アマノフラガールズは、講師のヒロ村井先生のご指導のもと月に2回、レッス



▲救護班の福田純男先生

ンを重ねています。発足して早いもので10年にもなります。踊れる曲数も数えるほど増え、この度は夏にふさわしい2曲を地域の皆様にお届けすることができました。皆様楽しんでいただくことができ、大成功でした。

これからも地域に寄り添った病院であり続けるよう張り切ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

出張、平良地区夏祭り!

アマノリスピリテーション病院薬剤課主任 三浦 友子

北米ヘルスケア・ツアー2016を終えて

アマノリスピリテーション病院2階病棟東看護師長 西村 裕子



2016年7月23日から31日にかけて、天野理事長をはじめ、障がい者支援部の國廣主任、在宅支援部の大津副主任、望海の里の西田リーダー、看護部の西村の計5名で北米視察へ行ってまいりました。視察では、オハイオ州のクリーブランドの病院や施設を計12箇所見ることができまし

た。涼しい気候と聞いていましたが、今年心地よい暖かさで快適に過ごせました。

施設の1つ、Edwin Shaw Rehabilitation Center ではアメリカの保険医療制度について説明を受けました。アメリカでは、国民全員が医療保険に加入している訳ではありません。低所得者や障がいのある方、65歳以上の方以外の多くの国民は、個人で民間保険会社との契約での医療保険に加入しています。日本に比べ医療費が高く、早く退院することが患者さんにとっても病院にとっても重要になります。そのためアメリカでの在院日数は日本と比較してはるかに短く、患者さんの主体性・意思を尊重したケアが中心となっていることが理解できました。日本でも近い将来、在院日数が短縮され、回復期リハビリテーション病棟の果たす役割が益々重要になってくると感じました。

別の施設の Summa Health System では、CARF (Commission on Accreditation

of Rehabilitation) リハビリテーション施設認定委員会) の認定について説明を受けました。CARF の認定審査を受けるためには、患者さんの利益になっているか、患者さんとスタッフが同じゴールに向かっていくかなど常に患者さんに焦点を当てた治療・ケアになっているかが評価されます。例えば、患者さんが服用されている薬の作用について、患者さん自身がきちんと理解できるように対応しているか、また、現場管理者とスタッフとの情報の整合性が取れているか、患者さんに対してリハビリを支援していることを

らに質の高いリハビリテーションを提供することを目指し、精一杯がんばっていることと思います。私も看護・介護職の立場から専門職として微力ながら皆さんとともに少しずつ前進していきます。この度は、良い機会をいただき、本当にありがとうございました。



シナプソロジーの導入

ゆづうあまの主任 佐々木 香織

デイサービスセンターゆづうあまのでは、この度、三名の職員が「シナプソロジー」インストラクターの認定を受け、シナプソロジーを導入しました。

シナプソロジーとは、脳を活性化させるプログラムであり、筑波大学体育系の田中喜代次教授が代表取締役を務める株式会社TDFのシナプソロジープログラムの効果検証では、実際に脳の認知機能が向上するというデータが出ています。

このプログラムの特徴は、出来る事が目的ではなく、出来なくても、新しい刺激に反応することが大切となります。

視覚や聴覚等への刺激を変えながら、じゃんけんや他の動作を行います。その際、声も出してもらいます。私も緊張しながら説明を行います。利用者さんも慣れない中、迷いながらも熱心に身体を動かし、声を出してくださっています。

利用者さんからは、「どうだったかな」「難しいなあ」という声も聞こえてきますが、迷いながらも反応するこ

とや脳が過度に混乱することこそが、脳の活性化になるため、しっかりと声かけをしながら楽しんで取り組んでもらえるようサポートしたいと思います。

そして、シナプソロジーを通じた新たな五感刺激で、「その人がその人らしく」生活していただけるよう支援していきたいと思っています。

シナプソロジーでは、刺激を変化させることを「スパイス・アップ」と言います。

シナプソロジーに加え様々な創作やゲーム、行事などを行い、「スパイス・アップ」が言葉になるような、デイサービスゆづうあまのを目指し日々努力してまいります。



職場紹介

介護付有料老人ホーム カーサミニア

施設長 野間 稻穂

カーサミニアは介護付有料老人ホームの中でも地域密着型という分類の施設です。部屋数は29で全個室です。要介護の認定があつて甘日市在住である方が入居対象となります。

「地域のために 地域とともに」という法人の理念のもと、入居者の方にとって「居心地のよい我が家」となるように職員一同努めています。

ゆったりと安心感のある時間を過ごす中で、アクセントとして体操やレクリエーションがあり、時には季節行事としてお食事会等の外出やボランティアさんの催しに心躍らす機会を設けて、メリハリのある生活を送っていただきたいと思っています。



日々のお食事もしみの一つです。毎月、行事食の日があり、いつもとは違う趣向で器や色合い、形も凝ったものを提供して喜ばれています。食事については、ホームページで多数紹介していますので、是非ご覧ください。

小さな施設ではありますが、これからも温かい我が家となるように頑張っています。

病床機能の変更について

▶地域包括ケア病床開設

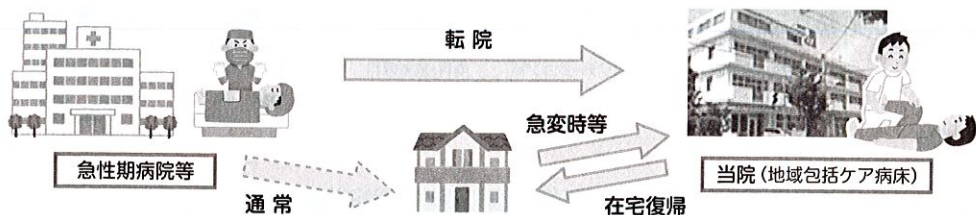
平成26年4月より、厚生労働省の診療報酬改定で、急性期医療とその後の亜急性期医療を充実させる目的で、地域包括ケア病棟が新設されました。アマノリハビリテーション病院は、平成28年6月より、3階病棟東の一部(20床)を地域包括ケア病床として運用することになりました。

地域包括ケア病棟(病床)とは、急性期(手術や検査等)が終了した後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対してしばらくの間入院療養を継続し、「在宅復帰に向けての準備を整える」ための病棟です。

在宅療養中の患者さんが、病状の変化があった場合や入院治療が必要になった場合に入院の受け入れを行います。ご入院中にご自宅等への退院準備をしっかりと整えていただくとともに、リハビリテーション等を行い、安心して地域へお戻りいただけるようお手伝いをさせていただきます。

主に、以下のような患者さんが対象となります。

- 入院治療により状態は改善したが、在宅に戻るには、もう少し治療継続が必要な方
 - 入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けてのリハビリテーションが必要な方
 - 在宅での療養準備が必要な方
 - 病状の急変があった在宅療養中の方
- ※入院期間は、状態に応じて60日が限度になっております。



また、退院時には、主治医をはじめ看護師、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー等が協力し、効率的に患者さんの在宅復帰に向けた準備、相談を行っています。

▶回復期リハビリテーション病棟の施設基準の変更について

平成28年7月1日より、3階病棟西(31床)の施設基準を回復期リハビリテーション病棟入院料2から1に変更を行いました。

この度の変更に伴い、専従医師の配置やこれまでよりも手厚い看護師、リハビリスタッフの配置等の厳しい施設基準が求められるため、患者さんにこれまでよりも、より充実した医療、看護、リハビリテーションを提供することが可能となります。

当法人は、患者さんが「住み慣れた地域で自分らしく人生を送る」ことができるようより一層努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

アマノリハビリテーション病院 総務課 課長 赤松 俊宏

学会研修報告

第34回全国デイ・ケア研究大会2016

7月22日から23日にかけて、千葉県幕張で第34回全国デイ・ケア研究大会2016が開催されました。今回、あまのクリニックより医師1名、理学療法士2名が参加し、リハビリテーション会議について一演題発表させていただきました。平成30年の診療報酬・介護報酬同時改定に向け、大きく変わっていくであろうデイケアです。各会議で活発な意見交換、情報交換が行われました。

演題名

「トイレで排泄！リハビリテーション会議でスムーズに連携が図れた事例」

発表者

通所リハビリテーション 理学療法士 富田 明日香



職員
サークル
紹介

サイクリング同好会



あまのクリニック 通所リハビリ 矢谷 拓也

みなさまこんにちは。私達サイクリング同好会は、7月に発足したばかりの新しいサークルです。今、サイクリングはフィットネス効果が期待でき、ストレス発散に良いと言われています。私達サイクリング同好会は、そんな素晴らしいサイクリングの活動を、もっと多くの職員と共有したいと考えています。活動内容としては、大きなサイクリングイベントへの参加の他、我々が独自で考案したコースを走るゆるめライド、その他各種講習会（パンク修理等）を予定しており、毎月日曜日を中心に行います。スポーツ用自転車を所有していることが前提になりますが、普段のうっぴんを晴らすためや、美味しい物を食べにひとつぱりしたいと思えます。問い合わせは通所リハビリ、矢谷までお願いします。



天野 純子…内科・リハビリテーション科
川上 恭司…循環器科
福田 裕恭…内科・心療内科
福田 純男…小児科
狭田 純…リハビリテーション科・神経科

中島 康…内科・循環器科
山根 浩介…内科・放射線科
小浦 義彦…リハビリテーション科
大森 忠信…心療内科
木村 浩彰…リハビリテーション科

西山奈緒子…内科・リハビリテーション科
三上 幸夫…リハビリテーション科
澤 衣里子…リハビリテーション科
松下 宏子…内科・循環器科
榎津 優…心療内科

河村理英子…小児科
伊藤 泰子…循環器科
菊地 由花…リハビリテーション科
吉屋 直美…皮膚科
柏木紀代子…心療内科

2016年9月以降

アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～12時	1診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	松下 宏子 内科・循環器科	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	2診	狭田 純 リハビリ・神経科	—	狭田 純 リハビリ・神経科	狭田 純 リハビリ・神経科	大森 忠信 心療内科	狭田 純(第2.4のみ) リハビリ・神経科 福田 純男(第1.3のみ) 小児科
午後		休診					

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～13時	1診	—	山根 浩介 内科・放射線科	—	—	狭田 純 リハビリ・神経科	—
	2診	榎津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	柏木紀代子 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
午後 2時 ～5時	1診	—	中島 康 内科・循環器科	9月よりあまのクリ ニックでは、午前中 の診療を行います。	—	—	—
	2診	福田 裕恭 内科・心療内科	—		福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル

<http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9 TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科

診療時間 午前9時～12時

休診日 日曜・祝日

あまのクリニック

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151

診療科目 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科

診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時

休診日 水曜・金曜(午後)・日曜・祝日

■通所リハビリテーション

■重度認知症患者デイケア

■高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市新宮1丁目13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1620
電話対応可能時間 月曜～土曜可能
午前8時30分～午後5時30分

■広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F
TEL.0829-34-4717 FAX.0829-34-4718
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

■相談支援事業所 あおぞら

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F
TEL.0829-34-4710
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

■地域活動支援センター ハートフルあまの

廿日市市新宮1丁目13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1624
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

■あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265
電話対応可能時間 月曜日～土曜日、祝日
午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応

■訪問看護ステーションハートフルステーション あまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

■介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

■介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

■発達支援教室おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166
電話対応可能時間 日・祝日・水曜日除く 午前8時30分～午後6時

■アマノ在宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

発行：医療法人 ハートフル

企画・編集：広報委員会

発行日：2016年9月16日 季刊誌